

6月から
住民税増税

払える国保・住民税に!

国 保料(税)高いと思いませんか?

今でも高い国保料(税)。税制・社会保障改悪の影響で今年も上がります。6月の住民税増税の影響は、国保料(税)だけではなく、介護保険料、保育料や公営住宅の家賃など、庶民生活のあらゆるところに波及します。

非 情な国保証取り上げ

滞納世帯480万世帯(加入世帯の19%)
資格証明書35万世帯超

「国保料が今年の4倍10万円に、老人に死ぬというのか」「分納の相談にも応じてもらえず、資格書を発行された」「窓口負担が大きく病院にかかれぬ」など高すぎる保険料に悲鳴があがっています。



なぜ?こうした事態に 国保崩壊

- 原因① 84年に国庫負担を下げた
 - 原因② 97年滞納者へ資格証明書の発行を市町村に義務付けた
- つまり責任は、国民から医療を受ける権利を奪う国の社会保障「切り捨て」政策にあります。

全国のとくみを伝える「商工新聞」

税金・保険料が高くて払えない時は一民商へ

民商は国保料(税)の引下げや減免制度の適用を求めて各地で運動をしています。

一人で悩まず民商と一緒に減免申請を行なって、自分の生活、営業実態を訴え、払える税金・保険料にすることを主張していきましょう。

減免申請は当然の権利

国民健康保険制度は、憲法25条(生存権、国の社会的使命)にのっとり、「社会保障及び国民保健の向上に寄与すること」を目的にしています。

住民税増税★決めたのはダレ???

住民税の増税は定率減税廃止が原因。言い出したのは公明党。「100年安心の年金」をかかげ、定率減税廃止と年金保険料引上げで財源をつくといいました。しかし、年金は良くなるどころか、次は消費税増税でまかなうといい始めました。民主党も年金財源のために消費税増税を言い、改憲でも増税でも自民党と競っています。



爆走! 改憲・増税推進バトル

参院選へ、増税隠しはゆるせない!

安倍首相は、国民の批判を恐れ、選挙での増税隠しを狙っていることは明白です。

参議院選挙は、憲法改悪と庶民大増税をすすめる政治に審判を下す絶好のチャンスです。

払いきれない税金・保険料には「減額・免除」の制度があります

相談は民商へ